

日本風景街道「人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～」

平成 20 年度 第 1 回レーク街道推進会議

議事録

日時：平成 20 年 4 月 11 日（金） 15：00～17：30

場所：大社文化プレイスうらら館 会議室

■開会 三代座長

平成 19 年度に実施したレーク街道カフェでは、約 700 人にご利用いただきました。ご協力を頂いた皆様にお礼を申し上げます。カフェのセットは、様々な場に貸し出し、活用されています。3 月には、米子の夢蔵プロジェクトによって 2 度活用されました。明後日には、菜の花鉄道の会でも活用される予定です。また、今年度も 9 月にレーク街道カフェの実施を予定しております。今月の 20 日に開催されるカラコロ春まつりでは、昨年レーク街道カフェを実施した京橋川沿いでカフェの実施が予定されており、昨年の活動が浸透してきたと感じています。

本日は、石田先生による「日本風景街道への期待」と題した講演を頂きます。また、島根県立古代出雲歴史博物館で 7 月に「聖地★巡礼」、10 月に「花山法皇 崩御千年 秘仏への旅ー出雲石見の観音巡礼ー」という企画展が開催されます。神仏の通ひ路ルートと巡礼ルートは関連が深いので、今回は勉強会とアイデア出しのため、博物館から学芸員の方をお招きし講演頂きます。

■講演「日本風景街道への期待」 石田東生（筑波大学教授・日本風景街道戦略会議委員）

現在登録されている日本風景街道の登録ルートの中でも「人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～」は評判が良いです。風景街道の活動は、継続的に実施しないと地域に活力を与えることができません。今後 1 年半掛けて日本風景街道戦略会議で登録評価の議論が行われます。多様な地域状況に応じて評価しなければならず、パートナーシップには、質の向上と継続的な活動を行うことを望んでいます。また、パートナーシップから戦略会議に対して、どんな評価が必要かを声に出して発言して欲しいと思っています。道路は、人や文化を繋ぎ、交流の場を創出し、地域に活力を与える大切な事業です。パートナーシップに対し、専門家を派遣し活動を支援することも必要です。道路局には、日本風景街道のパートナーシップの運営に責任を持って予算をつけて欲しいです。

シーニックバイウェイ北海道の活動事例を紹介します。平成 19 年 9 月 9 日に支笏洞爺ニセコルートにおいて「国道よごさん（453）キャンペーン&カーボンオフセット型モニターツアー in 洞爺湖」というツアーを実施されました。国道 453 号沿いにカラマツを植樹し CO₂ を削減する取り組みと地域特性を楽しむドライブ観光を組み合わせたツアーです。ツアー参加者は自ら植樹したカラマツの成長を楽しみにしておりリピーターの獲得に成功しました。平成 19 年 1 月 27 日と 2 月 10 日には、支笏洞爺ニセコルートにおいてロウソクの一斉点灯を実施しました。原価 60 円のロウソクを旅館やペンションの方に 200 円で販売しました。17 時になると、旅館やペンション、パートナーシップが一斉にロウソクを点灯しました。宿泊客には大変好評で、パートナーシップの活動団体は一斉に同じ活動を実践することで一体感がうまれたと言います。大雪・富良野ルートでは、ルートが正式に認定された記念として第 1 回フォトコンテストを開催し、入選した作品

を記念切手にして販売されました。日本郵便の切手作成サービスを利用すると、最低 1000 シートから 1 シート 1200 円でオリジナルの切手を作成することができます。それを 1 シート 1800 円で販売されました。入選した人がまとめ買いされたようですが 2000 シートも売れ好評でした。北海道開発局の職員も汗をかいて販売に助力され行政とパートナーシップの距離が縮まりました。現在、この圏域では山陰自動車道が建設中ですが、高速道路と地域のあり方について今の内に考えておく必要があります。アメリカの IC 周辺やフランスの SA は、様々なサービス施設が立地しているため旅行者はハイウェイから降りなくなり、バイウェイへの流入が無くなりました。IC や SA 周辺の町は衰退し、アメリカでは、シーニックバイウェイ運動の一つの切っ掛けにもなりました。対応策として、アメリカでは、シーニックバイウェイの措置の中に、日本の伝建地区の様な登録制度を設け、沿道の歴史ある建造物の保全や固定資産税などの免税措置などが取られ歴史的ルートを保全しています。フランスでは、高速道路の共有によって交通が通過される地域の経済・観光開発に高速道路建設費用の 1%が充填されます。バイウェイの道路維持管理や高速道路に取り付けるバイウェイに誘導する案内標識の設置、沿線地域の観光情報の提供などに充填されています。山陰自動車道を利用する旅行者が高速道路への囲い込みに陥らないように山陰自動車道が建設中の今こそ国道 9 号とのあり方を考える時期にあると思います。

国会ではガソリン税論議が活発になっています。しかし、日本のガソリン税は、OECD 諸国と比較すると低い。日本は道路特定財源を一般財源化する方向にあるが、イギリスでは交通目的の費用不足を補うため、中心市街地へ流入する車輛に対し約 2000 円 (8 ポンド) の徴収を行っています。道路特定財源の使い方についての批判が高まっていますが、日本風景街道の取り組みは、道路を活用して、人や文化を連携し、協働を促進し、地域活性化に寄与する大事な事業です。パートナーシップの皆様におかれましては、美しい町、美しい道づくりの活動を継続頂きたいと思います。

■講演「聖地★巡礼－自分探しの旅へ－」 品川智彦 (島根県立古代出雲歴史博物館学芸員)

この企画展は、ドキュメンタリー映像を中心とした展示内容になっています。

キリスト教三大聖地のひとつコンポステラへの巡礼路は、フランスからスペインに跨っており、年間約 3 万人が巡礼に訪れています。巡礼路の終点は、コンポステラの教会の先にある岬となっています。巡礼路の交差点には、ホタテ貝のマークがついており、そのマークは巡礼者を聖地へ導く方向矢印の役割を果たしています。コンポステラは聖ヤコブを祀る教会で、ホタテ貝は、聖ヤコブのシンボルとして巡礼者を守るとされています。

聖母出現の地であるルルドには、ミサで約 2 万人を収容ができる教会があります。また、泉の出現などの奇跡を求めて年間約 500 万人の巡礼者が訪れています。アルプスにあるラサレットも聖母出現の地であり、ここにも泉があります。

日本の聖地巡礼としては、熊野参詣、西国巡礼、伊勢参宮、四国巡礼の 4 つの巡礼を紹介します。

■講演「花山法皇 崩御千年 秘仏への旅－出雲・石見の観音巡礼－」 椋木賢治 (島根県立古代出雲歴史博物館学芸員)

西国三十三所巡礼は花山法皇が始めたという説もあり、今年は法皇が崩御されて千年にあたることから、観音巡礼と観音菩薩を紹介する展示内容となっています。三十三という数字は、観音菩薩が三十三の姿に変化し人々を救済したことに由来しています。観音菩薩は阿弥陀如来の右の脇

侍です。出雲、石見の観音巡礼は、江戸時代中期に定着しました。出雲の観音巡礼は、この大社町にある長谷寺を一番札所とし、松江市玉湯町の清厳寺が三十三番目となっています。昔の人は、5日間でこの出雲の観音巡礼をしたと言われていました。私も、現在、実際に巡礼路を歩いており、安来市にある長楽寺まで巡礼を終えました。途中、路が途切れている箇所もありますが、一丁地蔵が道標となっており札所へ導いてくれます。現在の石見の観音巡礼は、昭和50年～60年になって復興したのですが、展示は江戸時代の観音巡礼を紹介します。天領をめぐるルートが巡拝ルートになったものと考えられます。石見の札所では、既に観音菩薩像の行方が分からなくなったところもあります。しかし、今回の企画展に合わせ島根県に里帰りする秘仏もあり、普段公開されないことがない秘仏を目にすることが出来るまたとない機会です。それから、出雲國神仏霊場巡りについても紹介する予定にしております。

■レーク街道推進会議 平成19年度事業報告 別紙参照

■レーク街道推進会議 平成20年度活動計画 別紙参照

■レーク街道推進会議所属団体 平成20年度活動計画 別紙参照

■意見交換

三代座長：活動予定表に記述がなかった団体の方、もしくは活動に追加がある方は発言下さい。

石川委員：木綿街道の会では5月18日に平田船川の清掃を予定しております。それから平田地区では3月末にまちづくり協議会が結成され住民協定が制定されました。木綿街道交流館裏にアパートが建つ予定で、交流館隣の本石橋邸の庭園の景観を阻害しかねないため、大東建託に対し対策を講じていただけるよう協議会を通じて申し入れをしました。また、木綿街道にある酒屋が競売にかかります。出雲市で買い取って、いずれ民間に払い下げられることになると思います。それから、ボランティアを募り、木綿街道沿いの建物の格子に柿渋を塗る活動も考えています。

石村副座長：大山王国では、今年も大山の大野池湖畔で夏至祭を開催します。これは、野外コンサートで、毎年、400～500名の方が訪れ、今年で第9回となります。今年は伊勢正三氏の声掛けで、我々世代には垂涎のミュージシャンの出演がありそうです。大山王国は大山のエコツーリズム協議会の運営を行っていますが、大山にアウトドア用品を扱う株式会社モンベルの直営店が出店しますので、モンベルや旅行会社と協力して着地型の旅行ツアーが企画できたらと考えています。4月22日からはサントリーから大山の天然水の販売が始まります。そこで、大山環状道路に大山パークウェイなどの愛称をつけてサントリーやモンベルを繋ぐルートの形成などを考えています。

野津委員：松江フィルムコミッションは、一般の方に映画監督の作品を身近に感じて貰う取り組みを昨年から行っています。NHKの朝の連続テレビ小説「だんだん」の撮影にも協力しています。

河原委員：社寺縁座の会では、明日と明後日に雲南市にある須賀神社と峯寺におきまして、第4回出雲國神仏霊場合同祭事・世界平和祈願祭を行います。来年は、大山の山開きに合わせて大山寺と大神山神社で行う予定です。

勝部副座長：島根県技術士会は、10月28日に開催される技術士会全国大会の運営を行います。約600～700名の技術士が来松することになっており、この圏域をPRする良い機会だと考えています。

岡村委員：鳥取県技術士会では、彦名干拓地への芝生の植生に取り組む予定です。また、秋に行われるレーク街道カフェを、技術士会として視察する予定です。

三代座長：島根県ウォーキング協会では、11月23日に出雲市佐田町でスサノオウォークも開催します。毎年700名程度の参加があります。

藤原委員：松江商工会議所では、先程座長の話にもありましたが、カラコロ春まつり、冬季にはまつえ暖談食フェスタを例年通り開催します。また今年度も9月～10月に中海遊覧船を運行します。10月5日に松江観光文化検定試験を実施します。毎回、600名の受験者があります。公式テキストはこれまでに4000冊売れております。

谷尾委員：安来市は名所・旧跡が豊富なため、それらを紹介するマップ製作を考えています。

山崎氏：島根県では、県管理の道路や河川の維持管理を住民協働で実施する方向にあります。維持管理に楽しむと要素を加えたいと考えています。

玉木氏：風景街道の取り組みは、地域振興の要素もあるので、斐川町の商工観光課にも呼びかけます。

三代座長：斐川町は花の町ですが、チューリップやひまわりなどの栽培は集落営農によるものですか？集落営農と花づくりの活動を一緒に取り組み、街道の美化を図ることができれば良いですね。

■閉会